



Pick Up News ■新年あけましておめでとうございます。大学の一年は4月に始まり、3月に終わりますが、これからの2カ月は、皆さんにとってはとても重要な時間になります。4M2と4年生は締めくくりの時間となります。泣いても笑っても大学生活最後の時間。悔いの残らないような時間にして下さい。M1と3年生は進路を考えて、活動を始める時期。自分の適性、将来の姿をイメージしながら具体的に動くこととなります。2年生は進級に向けての大切な時期で大学生活折り返し地点。これまでの自身の取り組みを振り返り、次の2年間に向けて弾みを付けて下さい。1年生は大学の一年を経験し、慣れてくるところ。入学時の初心を忘れずに頑張ってください。今号では二級と宅建の合格者ご紹介です。二級建築士の合格者数は全国の大学でも有数のレベルとのことです。在学生皆さんの頑張りに敬意を表します。

二級建築士合格者

ここでは代表して2名の声を掲載しますが、全員から喜びの声をいただいています。いずれ別の形で全員の声を紹介いたします。まずは合格された皆さんの心からのお祝いを申し上げます。おめでとう！（ここに記載の学生以外で、私も合格しました！という人がいたら石井まで連絡下さい。



2年 山内悠一斗くん



4年 吉田人志くん



3年 丹治隼くん



M1年 竹内友佐くん

二級建築士 合格者の声：今野楓雅くん
令和2年度の建築士法改正により、工業高校で指定科目を修めて卒業すれば、二級建築士試験が受験できるように緩和されました。これを受け私は、在学中に資格取得することは、就職活動で強みになると思い、今年度受験しました。試験は学科試験、製図試験があり、学科試験は、過去問5、6周をノートに解き、間違った問題は解説をしっかりと読んで再度回答したり、分からない用語があれば自分で調べたりして学習しました。製図試験は、総合資格学院に通い、合格図面を時間内に描けるようにするため、毎日平行定規と向かい合いました。簡単な試験ではありませんでしたが、資格学校の先生方や一緒に頑張ってきた仲間が存在で最後までやり切ることができました。学科・製図に共通して、毎日少しでも勉強することが大切だと思います。



2年 今野楓雅くん



2年 仙石匡昇くん



4年 五十嵐聖人くん



2年 鈴木優芽さん



2年 齊藤弘高くん



4年 八木健介くん



2年 佐藤太郎くん



4年 上野代直生くん

宅建士合格者



3年 相原拓真くん

宅建士 合格者の声：佐藤恵太郎くん
試験は毎年10月の第三日曜日に行われるのですが、勉強は同年の3月に始めました。外部の通信教育会社からテキストや映像資料を取り寄せました。勉強に費やした費用はあまり安くはなかったのですが、それがモチベーションになり頑張りにつながったのかなと思います。0からのスタートだったので、初めは映像授業を受け、翌日にテキストで復習するようになりました。勉強が本格化したのは夏休みになってからなのですが、基礎知識が抜けていたため、映像資料を見直し、その後ひたすら過去問題集を繰り返し解きました。「もう充分だろう」と思っても解答を間違えることが何度もあったため、現状に満足せず、ひたすら数をこなすことが必要になると思います。根気強く頑張ってください。



2年 武田隼くん



2年 高橋寛人くん

Pick Up Lab. 薛研究室は構造系の研究室で大学院生(M1)2名、4年生8名、3年生10名の計20名(R3年度)が在籍しています。今年度の4年生は卒業論文として「液体と球体を用いたハイブリッド制振法」「カメラを用いた変位測定」「中間層免震構造」の3つのテーマに分かれ、最先端の研究を行っています。研究室にはテレビやSwitchからシンクやコンロ、冷蔵庫までなんでもあり、快適です。ウォーターサーバーもあるため、お水が飲み放題です。研究室規模での交流の機会が年に数回あるため、学年の垣根を超えて親睦を深めることができるのはもちろん、薛先生とも仲良くなれます。(4年木藤優弥)



実験の様子



集合写真



2年 鈴木 優芽さん
山形工業高校 出身

Pick Up Student

私は周りの方々に恵まれる運の良さと、やりたい事を思いだけに留めず行動に移すことで充実した大学生活を過ごせています。その一つとして昨年の夏に二級建築士に合格することができました。建築士資格合格は一つの目標としてありましたが、資格へ向けた学習を通し取得がゴールではないことも分かりました。そのため、オープンデスクや日々の読書、講演会への参加、建築分野以外の勉強など興味関心のある場へ積極的に行くようにしています。また建築を海外でも学びたいという、高校からのやりたい事のため今年は苦手な英語学習にも力を入れていきたいです。残りの大学生活も持ち前の行動力と周りの方への感謝を忘れずに楽しみます。



1年 平澤 拓海くん
弘前工業高校 出身

Pick Up Student

4月から始まった大学生活ですが、あっという間に時間が過ぎ去っていったように感じます。後期からは条件に合わせて設計をする課題が始まり、友達と比べあいながら自分の作品を楽しんで制作しています。建築材料のレポート課題で「擬似材料を見つけよう」という課題があったのですが、その課題がきっかけとなり友達と外を歩く時に、つい擬似材料を探してしまっていることがあります。授業で出された課題のおかげで気づいたことや興味を持ったことが多くあるように感じています。また、後期は太白区との共同講座に参加して先生や先輩から色々なことを教わるなど、良い経験をする事が出来ました。これからは今まで以上に、積極的に学んでいきたいと思っています。